

我等同人が此の「上海」を始めて發行せる此の大正二年も最早終つて、大正三年は來らんとす、此の大正二年は實に多くの出來事のありし年なるとしてあらゆる事變に遭遇したり、而して我等は常に平和を求めて止まざりしなり、殊に支那に在り、支那の事情を研究する我等は、富強なる支那を見んことを欲して止まず、支那で日本が常に親交ならんことを求めて止まず、東亞の平和を維持せんが爲めに支那の保全を希望して止まざりしなり、

力を加へて強ゆる所なり。支那と日本との間に利害を共通ならしめ、支那と日本との間の貿易上の關係をして更に見るべきものあらしめんことこれ亦た我等の屢云へる所なり。

支那に於ける最近三年間の出来事は支那の各方面の事物に對し頗る大なる變化を生ぜしむるが如しと雖も之れたゞ外形上の變化に過ぎず、支那の事物は多くは舊態を脱し居る所殆んどなく、而して政事上の革新の如きはこれより漸次に始めらるべくして、これ迄の第一次の革命、所謂第二次の革命、北京のクーデター等の如きはなほ以て支那の將來に於て更に一大變革を來すべき序幕に過ぎざるなり、今後に於て生ずべき事件は支那の將來に關し頗る重大なるものあるべきなり、事の表面に顯著なるもの外、裏面の暗流も顯る我等が毎度記述せる如く、泰西の文明と東亞の文明とが互に相觸れたるが爲め支那に於ける爭ひは此の二者がよく同化し、支那に適應するに至る迄は底止する事なかるべし、此等の事件たる支那の今日に於て世人の耳目にも多く接する人物の自から知らずして各々其の爲すべきをなしつゝある次第にして、高き場所より之を見物する時は其の日其の日に生ずる事柄を研究し、單に政事のみ止まらず、經濟上の事柄乃至、通商貿易、交通教育、外交等凡ての問題について所見並に記事資料等を公けにし、加ふるに現代の支那に於ける文藝の大家に讀みて其の詩文をも紙上に載せ、又た幸にして支那の内地を旅行せる我が東亞同文書院の學生諸君の葉書通信をも得て、所謂第二次革命前後に於ける支那内地の事情をも明かにし得たり、

我等は素より、各其の本業の餘暇を以て其の見聞し、其の研究したる所を記述し、我等同人間に在る互に相示したる所を世に公けにし、世の識者の教を請ひ居れる次第なれば、今後本紙に於ても更に改良し、愛顧者諸君の同情に報するにつて頗る苦心し、決して今日を以て満足せず、互に相觸つてあるなり、

我等は幸にして愛顧諸君の同情の存するが爲め、今日迄の發達をなし得たり、一號は一號と改良を加へ來たりたり今後もなほ倍々改良進歩をなすし其の公平の態度を持続し、出来るだけ各方面の諸説を併せて公けにし、事實も各方面の語を載せ、讀者諸君の判定に資するあるを期したく考へ居れり、

録々 確

▲年末には萬事萬端の結末を付ける
 のだが支那の各問題は片が付かず、
 殊に借款問題も來年迄持ち越すわけ
 である▲北京政局の變動も右ともし
 ともつかず、政治會議も亦た本年中
 に別段の仕事もやれない様子である
 ▲國會なんて之を維持する説をなす
 ものが一笑される世の中、支那には
 共和も何にもあつたものぢやない、
 ▲政治會議も李議長は委員の本會議
 の時議論を無暗にやられると困るこ
 と云つてうの前に茶話會を開いて懇談
 の上て議事に取らう、るなど、すま
 して居る▲随分呑氣なものが流石に
 支那でなくては見られぬ幕だ、此の
 調子でやる位なら會議をやらずに回
 章で議案を委員に示し始めから賛成
 の印でも捺さして置いた方がましだ
 ▲クリスマスもすんで御正月も来る
 小供たちは大恐悦だ、支那では誰れ
 が一番恐悦かしら、▲本年も最早三
 三日でおしまいだ大正二年も大正三
 年となる、支那でも民國二年が三年
 となる、大正の御世に日本人は帝國
 臣民たるの幸福をつくらんと感じつ
 うある間に支那の人たちは民國の人
 民として果して幸福を増しつゝある
 や否これには問題である、▲兎も角
 も日本人は帝國臣民として自から誇
 り得るのみならず、頗る國力を發展し

● 資本金 四千八百萬圓
(內拂込參千萬圓)

● 積立金 壹千八百五十拾五萬圓

● 當座預金 年貳分

● 定期預金 三箇月年二分
六箇月年三分
十二箇月年四分

● 小口當座預金 月三厘

右小口當座預金ハ最初墨銀五弗以上次ヨリハ一弗以上御預リ可申候但シ利息ハ預リタル月ト拂戻ス月並ニ五弗未滿ノ殘高ニハ之ヲ付セズ



橫濱正金銀行

電 營業部 二七四
輸 入 部 三〇〇七

話 支配人席 MIIOOIN

本支店及出張所

臺北、臺中、臺南、基隆、嘉義、打狗、宜蘭、淡水、新竹、阿緞、花蓮、澎湖島、東京、大阪、神戸、香港、廣東、汕頭、廈門、福州、九江、新嘉坡

其他各所ニ取引先アリ

東亞に國なるものにして世界に對する、寧ろ女根より此の二文明の支那に於ける波動を達観し如何に此の支那の獨立國として存在するもの其の數の多からず、而して此の少なき東亞の獨立國中最も大なる領土と人口を有する支那、東亞の文明史上に頗る多くの頁數を有する支那がよく東亞の東亞たる所以のものを充分に發暢せんことは我等の屢記述し、希望せる所なり。殊に東亞に特有なる德數の保持と、其の學術の優等なる點を世界各國に示さば、は我等の最も帝國の紀元節に於て本紙第一號を

茲に年末の所感と我等の覺悟とを記するし、我等に同情し居らるゝ諸君に對し深く感謝の意を表さんと欲す、將來もなほ我等の微力を以てなしつつある、此の仕事の上に深く同情を表せらるゝ否は我等が自愛、自重する否とに存する事を知るが爲め倍々相勵み相勉めて止まざるべきを誓ふものなり

外にも出かけて随分と仕事をやつた
つゝある、▲國內のみに於てはなく海
外にも出かけて随分と仕事をやつた
ある、殊に支那に於ては相當に進
歩したつゝある、▲國內の勢力争ひは
かりして居る支那は國力を磨滅せし
めつゝあるの外はない、ちつこは自
國を愛するつもりで、國內の一致協
力をつづめ、國家を安泰ならしむる
様工夫したらごんなものか▲年末を迎
際し孫々子讀者の樂しき新年を迎
へられん事を祈る、

上海黃浦灘路第拾六號

臺灣銀行

支配人 江崎真澄

電話 營業部(二六五)

支配人席(二三三)

諸事精々御便宜相圖可申、

御用ノ御方ハ支配人席へ御

電話被成下度候

世界各國に示さんことは我

が帝國の紀元節に於て本紙第一號を

誓ふものなり

へられん事を祈る、

主要記事

●本年上海貿易(下)

▲茶の輸出高 本年第三期に於ける各種茶の輸出高の概要を記さん上海より日本及び朝鮮へ輸出せられし紅茶は日本に二百五十五担朝鮮に七担、綠茶は日本に三百三十六担朝鮮に二担あり、而して各國への輸出高は

	紅茶	綠茶
英國	二六、五五	一、五七
米國	一九、六二	一、五七
露國(太平洋岸)	二、〇〇	三、二
獨逸	二、五五	三、二
佛國	二、四六	四、七
澳洲	一、七六	五、五〇
漢口	一、五七	六、二
加奈太	一、四五	六、二
白耳義	七、七	六、二
土耳其其他	七、〇	五、五五
香港	三、三	一、九四
和蘭	四、四	三、三
日本(台灣を含む)	三、五	三、三
朝鮮	七、七	二、二
丁抹	七、七	二、二
南阿	七、七	二、二
英領印度	八、三	二、二
西班牙	一、七	七、七
伊太利	一、四	一、四
瑞典	一、四	一、四
諸威	一、四	一、四
其他各國	一、四	一、四
合計	七、六六	二、〇六

に二四八担、骨茶は香港に三、六六三担の輸出を見た

▲生絲の本年第三期に於ける輸出高は左の如し

	第一 白生絲	普通物	二度線物	機械線物
香港	二、二	二、二	二、二	二、二
海峽殖民地	二、二	二、二	二、二	二、二
英領印度	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
土耳其其他	三、三	三、三	三、三	三、三
其他	三、三	三、三	三、三	三、三
獨逸	四、四	四、四	四、四	四、四
佛國	二、二	二、二	二、二	二、二
西班牙	三、三	三、三	三、三	三、三
露國	七、七	七、七	七、七	七、七
利(台灣を含む)	七、七	七、七	七、七	七、七
日(台灣を含む)	一、一	一、一	一、一	一、一
米國	三、三	三、三	三、三	三、三
墨其古等	三、三	三、三	三、三	三、三
合計	五、三	五、三	五、三	五、三

▲貴金屬及び貨幣の本年第三期に於ける輸出入額は左の如し

	輸出	輸入
金貨	一、二	一、二
銀貨	一、二	一、二
金塊及銀塊	一、二	一、二
合計	一、二	一、二

(乙)支那各地よりの輸入

	第一 金	金塊及砂金等	合計
大連	一、二	一、二	一、二
漢口	一、二	一、二	一、二
合計	一、二	一、二	一、二

(乙)支那各地への輸出

	第一 金	金塊及砂金等	合計
大連	一、二	一、二	一、二
漢口	一、二	一、二	一、二
合計	一、二	一、二	一、二

日清汽船株式會社

上海出帆(漢口行)
每週月夜半浦東棧橋ヨリ發
每週土夜半郵船棧橋ヨリ發
電話 輸出宿直 四七五
輸出庶務 一三四九
船客 三二五六
上海支店
黃浦灘路第五號
電話 浦東棧橋 四七四
內河 一〇八七
漢口宜昌線 一ヶ月六回
漢口湘潭線 一週二回
漢口常德線 一週一回
九江南昌線 一月三回



株式會社 大倉組
上海九江路第拾七號
電話 輸出石炭 二八〇六
輸入會計 二八〇六
支店長室 三〇一四
支店及出張所 大阪、橫濱、神戶、吳、門司、佐世保、舞鶴、沼津、京城、臺北、臺中、打狗、天津、漢口、上海、大連、北京、倫敦、紐育、漢堡、漢堡、

○本店 東京市銀座通一二丁目七番地
○大倉益昌碼頭浦東事務所 (電話三〇七九)
○支店及出張所 大阪、橫濱、神戶、吳、門司、佐世保、舞鶴、沼津、京城、臺北、臺中、打狗、天津、漢口、上海、大連、北京、倫敦、紐育、漢堡、漢堡、

時事雜錄

昇がれたる政治會議

▲三太夫の機關

國民黨の解散によりて國會は事實上其の機能を停止せられたり、茲に於て中外の視聽は一齊に袁政府は如何なる方法を以て立法部を保持し行くべきかに傾倒したり、然り袁政府は珍奇なる政治會議を以て立法部保持の責を糊塗し斯くて自己の欲する所を行はんとせり、斯くの如く政治會議は其の第一程に於て變調を帯びしものなり(政治會議に就ては前數號に亘りて報道しあるを以て茲に其の性質機能等を以て解散せられたる國會議員の補缺を終る迄の國會代理機關なりとし、或者は立法權は斯くの如き機關を以て代理し得べきものに非らず、之は單に大總統の行政諮詢機關に過ぎずとなし諸説紛々として歸する所なく政府も亦其の權能を公表する事を通じて、依然支那一流の推戴敷衍の態度を保持したり、此を以て我等は本會議を袁政府の慣用手段たる野心遂行の一機關と爲し本會議に期待するよりも寧ろ袁政府が本會議を如何に操縦し、如何なる變化を惹起せしめ如何なる機會を之により出するべきかに意を用たり、果せるかや袁政府は漸く其の本心を發露し來たりたり、何ぞや、

我等の第一に不審に堪わざりしは本會議員を三十歳以上にして十年以上行政の經驗を有し世界的智識を有する者たる事即ち換言すれば袁氏の隨使に甘んずる官僚に求めし事、第二に始め純粹の行政諮詢機關なる旨を流布し簡きて近く國會の代理機關たる

らしめんとしつゝある事、第三に本月十五日開會式を舉行しながら會議の今に決定せざる事等とす而して本會議議長李經羲は本會議未開の理由を述べて曰く
本會員は各省より來りし者なれば心性品行學識見解明瞭ならず、遂に一堂に處らば情懷達せず感情の齟齬を來すべく、且つ優秀異同も調査し難ければ、當分會議を開かず、先づ各員を接洽せしめ各員の心性品行學識見解を研究せしめ庶幾異同優秀明瞭となり他日議事を指揮するに好都合なり云々

何等の思説ぞ、斯くの如くは何れの日か能く開會する事を得ん、今や舉國建設に多端の秋なり、然るに議長にして議員の品性學識を明瞭に研究せし上ならんは開議せずと云ふ、是れ支那人の程度低く未だ憲政を行ふに達せざる事を示せるものにして一面に於て政府當局も亦真面目に國事をこり居らざる証左に非ずや、我等が本會議を以て袁政府が野心遂行の機關なりと云ふ所以なり、而かも袁政府は極めて本會議を尊重するかの如く装ひ、一問題一事件の發生する毎に須く政治會議の賛成を経て決すべしと言ふ、即ち施政方針の決議、州制制定問題、國會の存廢問題の決議の如きなり而かも政治會議は右支左吾未だ開會するに至らざるや、と思ふに袁政府の不便に感じ且つ憂とするは國會の暗器なり、及國會議員によりて成る憲法起草會の起草せし憲法案なり、故に袁政府は總統に國會が有する官制官規の制定權文武職員任命權、和戰締約權、財政文職員更に緊急教令の發布權、財政の處分權等を増加せしむるに在るを以て敢て國民黨を解散して國會を停止せしめ此の間之れが責任を

塞く可く自己の隨使に甘んずる政治會議を組織し隱微の間に此等の諸權を取らば更に各省都督を以て漸次しめ之を政治會議に附議して之れが解散を實行せしめて解散の罪を政治會議に嫁せんとするに非ざるなからんや、由來袁政府の眼中には共和なし、憲政なし、故に政治會議にし、此の使命を果すに至らば復た國會の轡を踏む事なしと云ふべからず、知らず政治會議は如何の活動を爲し得べきか我等は今の將來に注意を怠らざるべし

物々々々白狼討伐

河南省に於ける白狼匪の跳梁は最近數月以來漸く中外人士の耳目を聳動し中原漸く塵埃の兆あるを思はしむるに至りたり北京政府も亦之を憂むる事切なり如何せん東南各省に亘る秘密結社の暗に蠢動せんとするに北方に於ける蒙古の壓迫と其に兵力を中原の地に用ふる事能はざる窮狀に在りて河南省民は衣食に安んずる事能はず怒嗟聲各所に起り狼匪の慘禍と相俟つて民變を惹起すべし恐るるを以て今同省は愈急隸豫、河南、江蘇、湖北四省の兵力を擧げ聯合して白狼の討伐を策し一方張河南都督は自ら洛陽に出動し白狼に二萬兩の賞銀を附して之れが捕縛を獎勵し居れり、今四省聯合軍の出動線路を示せば大約左の如しと

豫軍(河南軍)統領として同省の兵を率ゐる間方より洛陽に赴き四省方面即ち荆襄關の方面討伐に任ずべし
▲湖北軍 蕪湖駐劄の第三師長王安瀾を統率する統領として河南の境界より進み白狼の本據たる浙川縣方面に向つて進撃すべし
▲四省聯合軍總司令 河南土匪の出身たる王天錫を任ぜり其の討伐施設の大なる物々々々云ふべし抑も白狼は渺たる草賊野盜の集合のみ訓練規律ある軍隊の經驗を有する事少なき匪徒の一團のみ(勿論解散兵等の混入する者あらんも)而して之を討伐するに堂々たる四省の精銳を以てす、之れ一面に於て事件を誇大視す云々云々如何に支那軍隊の劣弱なるかを示せるものにあらずや、眞に白狼の強きにあらず官兵の弱きなり、而かも報章の傳ふる所に

よれば白狼は實豐に破れて後汝州の魯山縣に據りしが此處にて官軍と戦ひ官軍に百餘名の死傷者を出さしめ軍器を奪ひ附近一帶の山中に盤據し、戰勝に乗じて約四五千の衆を招致し、其の中には流離したる無辜の民多しと云ふ、此れの一例に過ぎずと雖も此の兵力を以てして猶勝算なきを思はしむ云々、夫れ然り豈に夫れ然らんや、當地新聞報に達せる河南通信の一節に曰く
河南の土匪猖獗の原因は種々あるべし、其の主因は官兵の腐敗であるなり、官場確實の調査に據るに護軍使趙閣が卒ゆる數軍と北洋より派遣せる軍隊を除けば他は洛陽嵩縣汝州等の土匪出身を以て成れる河南新編の陸軍にして無規律無節制の如き言ふに忍びず又土匪の程度の如き言ふに堪たざるなり、官を知らざるの概ありと雖も今春加藤高明男の論せられし如く青島に於ける商業設備内地交通機關は獨乙

擧に迫あらず、況して其他の慘狀に至りては髮賊及び捻匪の亂以來無き所なり、偶此の時に當り(本月十日)張都督南陽府一帶巡視の報傳は我等は百萬垂死の生靈の爲めに更生の望あるべきを冀ひしに十二日に至り都督は忽然歸城せり巷説傳へて曰く都督の許州に至るや車馬齊備せしも前程の匪窟益熾なりしを以て退回せりと或は鄭京の新聞にて張都督は南陽一帶を巡視し之を總統に報告せり云々云々僅か二日にして南陽を巡視し何ぞ報告を爲す事を得ん云々

是れ其の實情を目撃せる者の伴はらざる告白なり隱蔽せられたる弊端を暴露し得たりと云ふべし由此觀之は土匪の跳梁して劫掠を逞くし遂に一般に亘りて犯上抗違の風を盛んならしむる偶然ならざるなり、其の原因の萌す所實に政府當局に在り云々云々亦其の責を運るの辭なるべし、思ふに斯くの如くして各省の治安を擾亂し變亂相踵ぐに至れば當局の力已に之を收拾討平する事能はず遂に潰裂四出恐るべき結果を見るの日なきと云はんや、私利私益を事とする民國の當局諸公須らく思を茲に致し得可なり

山東に於ける獨乙勢力の消長

獨乙の山東に於けるは或意味に於て恰も我邦の滿州に於けるが如く一八九八年膠州灣占領以來殆ど獨占的の之を経營し青島居留地の發達は膠濟鐵道の進歩と相俟て今春加藤高明男の論せられし如く青島に於ける商業設備内地交通機關は獨乙

栗生洋行
經理 川岸 篠太夫
諸公債株式定期現物買賣取扱
有價證券信託
華總董 朱 葆三
華經理 李 健方
副經理 周 健吾
買辦 李 匯東
上海九江路A壹號
電話貳〇〇六
電話貳六貳六

三菱公司
上海四川路五五
支店 上海四川路五五
電話 二九一
製炭 銅紙 花紗 棉布 湖北水泥
五五路川海上海

資料

再び支那關稅引上問題に就て(下)

馬場義興

●支那の保護政策 昨年北京財政部より參議院に咨請したる草案の一節に

華商機器を以て製造する物品に對しマツケル條約通り外國人と同じの課税を爲す代り年來に於て補助獎勵金の名目をして以て原那人工場に割戻さば外人亦反對の口實を失ひ保護の目的を達するを得し

凡そ支那政府の建設又は免稅したる大工場の商品は依然其儘とすはマツケル條約第八條第九項の精神を適用して可也

とあり又現内閣閣僚熊希齡及張謇の二氏は赴任後屢々保護政策を取るべき方針なる由を言明し客月發表せし施政方針にも此旨を記せるは世人の知悉せるごとくなり又旅滬客商聯合會(上海各省商人團體聯合會)は十一月二十一日上海に會議を催し内國生産品に對しては保護政策を取るべきことを北京へ建議するの決議を爲せるに徴せば支那の朝野を通じて保護政策を最良と思考し之が實行を熱望せるや明かなり

想ふに支那朝野の關稅引上を熱望するは一に當面の財源を得他に關稅の引上により支那内地の産業發達を期し得て一舉兩得の政策なりと速断せる爲なるが如し然れども之は誤解解するとし云ふ可し支那の國富及民衆の福祉を増進するの途は却て農本主義を執るを可とするに非るか試に支那全土の農産額を概算するに毎年六十億圓を下らざるが如し而して根津同文書院長の說によれば支那の農産物收獲は我國に比し同一の地味に在りて約半額若くは其以下に過ぎず若し更

に支那貿易の利益と相殺するに足る何に產物輸出の途を開き交通渾源治水

物をも有せざるは敢て斷言するを

増收を見るは容易なりと云ふ我國過去の増收率に照らす此說最當を得たるものにして即ち拾八億圓の増收を得る次第なれば關稅引上により僅かに壹千萬圓の財源を得んが爲め多數の農民に必要缺くべからざる外國品の又は之に類似する内國製品を價を高くする如き政策は最も慎まざるべからざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

其他の獎勵の方法を講ずれば三割の増收を見るは容易なりと云ふ我國過去の増收率に照らす此說最當を得たるものにして即ち拾八億圓の増收を得る次第なれば關稅引上により僅かに壹千萬圓の財源を得んが爲め多數の農民に必要缺くべからざる外國品の又は之に類似する内國製品を價を高くする如き政策は最も慎まざるべからざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

なりと云はざるを得ず

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

●絕對の不同意を望む 現政に對する時を俟て保護政策を取るも敢て望みざるなり

團匪事件前の外債

團匪事件前即ち一九九〇年以前の各種の外債及び團匪事件の賠償金の半額は皆海關稅及び釐金稅を担保と爲し、故に海關は外人より管理し、現今は著るしき成績を挙げ、惟た今日の海關稅は僅かに上記外債の基本金及び利息の担保たる、其の中の一、千萬兩の債款に對しては鹽稅を抵押品と爲す。

千九百零一年後の外債

團匪の翌年即ち千九百零一年（光緒二十七年）より千九百十一年（宣統三年）末に終はる十年間に借り入れたる支那の外債は鹽稅を以て担保品となせるが今左に鹽稅を担保とせる外債名及び其の金額を示せば

借款名目	年度	毎年償還金額
湖廣總督借款	一九〇一	四、〇〇〇兩
湖廣總督借款	一九〇二	二、〇〇〇兩
湖北省借款	一九〇三	一、〇〇〇兩
直隸省借款	一九〇四	五、〇〇〇兩
兩江總督借款	一九〇五	七、〇〇〇兩
湖廣總督借款	一九〇六	九、〇〇〇兩
湖北省借款	一九〇七	一、〇〇〇兩
湖廣總督借款	一九〇八	四、〇〇〇兩
湖北省借款	一九〇九	一、〇〇〇兩
湖廣總督借款	一九一〇	四、〇〇〇兩

民國成立後の外債

民國成立後政府と各國銀行團と多くの小借款を訂結したるが這是茲に記述の必要なもの、其の内鹽稅を担保として正式に借款を爲せば毎年の償還金額約二百七十七萬八千兩なるクリスプ借款なり、支那にて鹽稅を担保とする前後の外債を示せば

借款名	毎年償還金額
團匪事變賠償金半額	一〇、〇〇〇、〇〇〇兩
團匪事件以前	五、〇〇〇、〇〇〇兩

クリスプ借款

以上の總數は約言せるものなり、蓋し爲替相場の変動あるを以てなり、由此觀之は支那の鹽稅を担保とせる外債の毎年の償還金額總數は、一千八百萬兩以上にして是れ國家が鹽稅による收入若干なるかは亦債權者の研究を要するものなり（未完）

文苑

魯正叔鋼琴歌鄭蘇載 孝符
秦皇得光昭雪 金曉絲魂奪枯木
諸姬法照若無家 截斷寒窗嘯寒玉
鳴絃動操思先王 潛龍一去天蒼蒼
雲光瀟海山立 手揭日月曉靈風
古苔纏紫沒奇字 正叔英靈猶栩栩
燈前題賦微燄微 破國五音頻雪涕
扶藜僊官借不得 黃姑抱琴飛露瀝
夜闌絳綺聞文姬 知音焉歸風雨黑

辛亥四月同郡哈君觀津
先生以黃君中慧所藏西
周魯正叔鋼琴揚本屬題
輒次雲間楊古蘊葆光原
韻以歸之余既爲哈君題
畏菴鐵硯後拉雜寫成此
詩要亦琴室夫婦所不能
迫促者也

著作權保護
コンテンツ

漢字新聞論調

●嚴に治匪を行ふべし（新聞報）
現今土匪の勢の盛なるは各省皆な一様なるを殊に甚しきは江蘇省す就中江蘇の浜海沿川の地方は匪徒の出沒容易にして拿捕頗る困難なり、江蘇は商務繁盛の地なれば匪徒清からざれば商務害を蒙る事甚し此れ他省と異なる所、匪徒討伐を一日も忽せにすべからざるなり、近頃江浙兩省は聯合して剿匪の計畫を以てふ適當の計なり、故に一二治匪に干する方法を當局に進言せん

▲、營勇の交通を嚴禁すべし、往時の營勇は皆土匪の類なり、此れ匪徒が營勇と聲氣を通せしに因る、故に匪徒討伐の功なし、今日の兵隊は往時の營勇と異なるも若し此の因の事情を察せずんば反つて匪勢を盛ならしめ地方を害するに至らん

▲、各自治團の協助する機、自治の團體は公衆の幸福を謀る機關なれば地方の匪類を肅清するに自治團の協助するは當然なり軍隊と地方官吏のみに委せず自治團が責任を負ふべし此の事に當らば地方を騷擾せしむる度も少なるべし

支那政府命令

●各省都督民政長の建言に就て
黎元洪外十七都督十八民政長二護軍使一經略使の建言によれば民國建設の始に當り法制紛雜を極め立法機關の成績甚だ少し救國の大計は政治會議に諮詢せん事を請ふあり思ふに建設の困難は諱言すべきあり政治會議各員は宜し該建言の各條に就き速に辦法を討論すべし云々

▲授陸軍上將銜 趙秉鈞
▲重慶の川黔兩軍衝突に就て
陸軍中將姚寶來を派遣して調査せしめたるに黔軍司令官黃成斌も川軍支隊を率て重慶城內に入らんとし、重慶を圍むるは許すべからず陸軍部督より懲恤せしむ良民の被害は四

野共に注意あり度きものなり、朝野共に注意あり度きものなり、中國財政の大半は兵の爲に困めらるゝは人の知る所なるが之を列示せんに
一、兵を擁して自衛し兵士を濫募するに於てか兵多し兵多ければ餉銀多し
（二）兵を濫募するも多きは虚數なり是に於てか兵愈多く兵多ければ餉銀も愈多し
（三）餉を平げし兵には二重の餉銀を與へて戰はせしむるに於ては餉を讓して戰はせしむるに於ては餉を讓し、一戰の間に餉銀は數倍を要す
（四）餉を平げて功あれば又た賞銀を要す

主客を論すべからず若し此過を再びするものは嚴重に處分すべし

▲授勳五位
左右翼前鋒八旗總管營事務管理
命（二十日）
任全國水利局總裁 張寶璋
任同局副總裁 張寶璋
任津滬總司令官 郭世倫
任陸軍少將 郭世倫
同 郭世倫
同 郭世倫

▲授勳五位
左右翼前鋒八旗總管營事務管理
命（二十日）
任全國水利局總裁 張寶璋
任同局副總裁 張寶璋
任津滬總司令官 郭世倫
任陸軍少將 郭世倫
同 郭世倫
同 郭世倫

▲授勳五位
左右翼前鋒八旗總管營事務管理
命（二十日）
任全國水利局總裁 張寶璋
任同局副總裁 張寶璋
任津滬總司令官 郭世倫
任陸軍少將 郭世倫
同 郭世倫
同 郭世倫

日本郵船株式會社

船名	往來	出帆
歐洲行	二週一回	上海出帆
米國行	二週一回	香港行
日本行	一週一回	一週二回以上

其他日本各港濠洲印
度朝鮮支那等諸航路
有

日本郵船會社
上海支店長
石井 徹

ルビーサア

大日本麥酒株式會社

代理店
上海三井物產會社



品質精撰

醫療用藥品 ●

醫療用器械 ●

醫療用綑帶材料 ●

理化學用藥品 ●

工業用藥品 ●

玻璃藥瓶各種 ●

諸大家賣藥各種 ●

美容化粧品各種 ●

廉價販賣

濟 大 生 堂 御 處 方 調 劑 處 藥 房

上海西華德路文角

電話 一五二六

● 上海港
輸出入統計

本月十九日より同月廿五日に至る一

週間に於ける上海港と、日本本土、朝鮮、台灣、大連、間貿易の形勢は、左の如し但し海關日報發行の日に掲載されし貨物は即ち其日に輸出入ありしものと假定したれば實際の輸出六時日は注意の條によりて知るべし

▲輸出の部

一日本本土への輸出

[illegible]

三〇〇枚

二五担	三十五担
木棉	晒粗布
九、四	一十

八笥木棉	四三〇反	綿天竺	一六二
和子ル	九九九反	木棉	一六二
カシニ	二五六〇枚	綿毛布	六
上袋	五、三五枚	コツト	七〇八
板面	四二台	ン袋	三三
縫織台	洋傘	時計	三三
又トラントク	肌衣地	襦袢	三七

五、〇〇
噸

一四〇五担 木棉糸

[illegible]

半漬物 七五

反	反
米	手袋類
二五旦	二四打
賣牛皮	印字紙

馬鹿	個	枚	枚	反	反
魚骨	皮靴	手カバン	精製蓑	ツト油	コ、アナ
二毛旦	二只足	三打	六担	二七担	二五担
票日分	汗襦袢	外)	軸木	洗濯石	特々月

魚骨 三
肩掛 三

二担 鹽酸

打担	打担	打担	打担	反斤	打担	個担	担担	担担	斤
支那鐵道進みたるを以て相場保合	●銀塊及爲替相場	印度備置	錫箔	五担	注意	以上は十一月二十二日二十三日の輸入	(二)朝鮮よりの輸入	(三)台灣よりの輸入	(四)大連よりの輸入
	(自十二月十九日起至同)		豆油	一六元担	爪子	セメント	一七元担	藥品	石炭
			厚付更紗	二〇元反	銀貨	一〇〇元噸			
			注意	以上は十一月十八日及十九日の輸入					

●
金
融
市
况

(自十二月十九日至同月廿四日)

廉價提供



千代田組

電力電燈電車電信電
話用機械及器具
鐵道蒸汽、鑛山、紡績用
機械及器具
各國電氣會社製電氣機
械及器具

製造販賣



東亞公司書藥局

上海河南路(工部局北隣)

(電話一七三四)

支那那向の各種書籍出版販賣

賣販次取籍書那支及び本日

器樂琴風び及具動運具房文

類品用店商び及社會校學各

賣販造製藥賣種各他其水月日藥目

賣販手一等飴田澄活胃湯將中丹仁

藥賣各本日び及品藥用業工用療醫

品粧化他の其粉磨齒油香水香酸石

東京本店

電話新橋長 三六〇、一八六、三四七

大阪支店

電話東長三八四八、三八四七

中州三六

線通交捷最絡聯亞歐

◎急行列車ハ最新式ノ一二等
寢臺車及食堂車ヲ聯結致居候

○大連長春間急行列車

大連發 月、水曜日午後三時二十分 莫斯科行
〔土曜日〕 午後三時二十分 聖彼得堡行

長春着 火、木、日曜日午後六時五十分

○滿鮮直通（釜山長春間）急行列車

釜山發 日、火、金曜日午後九時五十分

安東發 月、水、土曜日午後四時四十分

長春着 火、木、日曜日午後六時五十分

○長春大連間急行列車

長春發 月、水、金曜日午前七時

大連着 同 午後十時二十分

上リ

○滿鮮直通（長春釜山間）急行列車

長春發 月、水、金曜日午前七時

奉天發 同 午後二時四十分

釜山着 火、木、土曜日午後七時五十分

○大連發、水、土曜日及大連着、水、金曜日急行列車ハ上海航
路汽船ニ接續致候

歐大	亞連	間連	行ヨ	程リ
哈爾濱	莫斯科	聖彼得堡	巴里	倫敦
二十四時開	十日開	十一日開	十二日開	十二日間半

館旅道鐵

ルテホトマヤ

大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全 食物精選

大連市外星ヶ浦ニハ海岸はてるアリ

路航海上連大

使用船

神戶丸 九三八七六噸

兩船共船内無線電信局アリ

大連發木、土曜日正午

上海着土、月曜日午前

上海發月、水曜日午前

大連着水、金曜日午前

上海大連共ニ棧橋繫留

速力 神戶丸 九十九海里航海時間三十一時間
神戶丸 九十四海里航海時間四十一時間

炭順撫

大連、營口、天津、芝罘、

上海、香港、新嘉坡、彼南其他東洋諸港ニ於テ常

ニ潤澤ナル貯炭ノ準備アリ

(MANSEN)號略報電

(YAMATO)號略報電

社會式株道鐵洲滿南

町樂有區町麴市京東 社支○ 町園公東市連大 社本○

(MANTETSU)號略報電 (番九一二連大) 金貯替振